

しゃかいしほんそうごうせいびけいかく じごひょうか
社会資本総合整備計画 事後評価

(大分県大分市)

令和3年10月

大分県大分市

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

計画の名称	1 三佐北地区における安心・安全のまちづくり【第2期】（防災・安全）								
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）		交付対象	大分県大分市					
計画の目標	<p>大分市三佐北地区は準工業地域であるにもかかわらず、老朽化した住宅が密集し道路も入り組んでいることから、緊急時の安全性を確保することが急務である。</p> <p>当三佐北地区では、平成12年に地元協議会が設立され、行政と地元が協同で事業への取り組みを行ってきた。本計画では行政、地元が一体となり道路整備を行うことによって消防活動困難区域の解消、接道率向上による老朽住宅の減少を目標に、地域の防災性及び住環境の向上を図り、併せて避難場所（三佐小学校）までの避難時における子ども達の安全性を図る。また、道路整備により影響の出る三佐大村児童公園について一時避難地としての機能維持の為に公園整備を行う。</p>								
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 三佐北地区における消防活動困難区域の解消を目指す。 三佐北地区における道路整備率を48%までの向上を目指す。 道路整備を行うことにより接道住宅率を62%までの増加を目指す。 子どもの災害避難時における安全性の向上を図るため歩道整備率の向上を目指す。 								
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考		
				当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)			
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画をもとに消防活動困難区域をH31年度には19%まで解消する。 (消防活動困難区域率) = (消防活動困難区域-道路整備による解消区域) / (消防活動困難区域 (29ha)) (%) 				38%	25%	19%			
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画をもとに道路整備率をH31年度には25%まで整備する。 (道路整備率) = (道路整備延長) / (区域内未整備道路全体延長 (12,919m)) (%) 				17%	20%	25%			
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画をもとに接道住宅率をH26年度の36%をH31年度には41%まで向上する。 (接道住宅率) = (既接道住宅棟数 (191棟) + 道路整備完了後、接道が可能となった住宅棟数) / (区域内全住宅棟数 (524棟)) (%) 				36%	39%	41%			
<ul style="list-style-type: none"> 事業計画をもとに歩道整備率をH31年度に51%まで整備する。 (歩道整備率) = (歩道整備延長) / (区域内未整備歩道全体延長 (2,506m)) (%) 				28%	41%	51%			
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,323.1百万円	A	235.6百万円	B	1,087.5百万円	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

事後評価

○事後評価の実施体制、時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
事業担当課において、数値目標の達成状況や事業の効果を検証し、評価を行った。	令和3年 9月
	公表の方法
	大分市のホームページに掲載

1. 交付対象事業の進捗状況

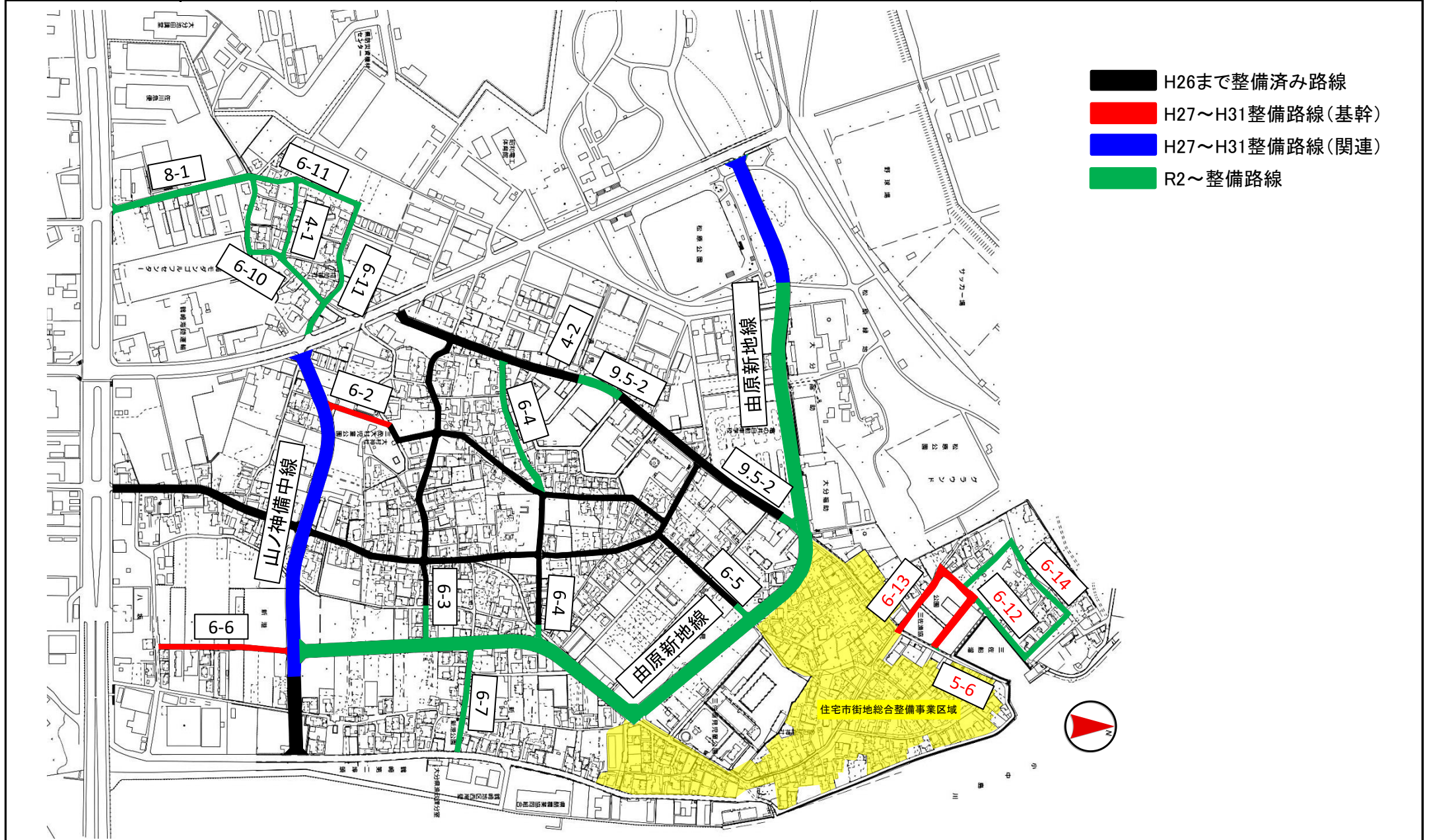
交付対象事業															
A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-A-1	防災	一般	大分市	直接	大分市	都市防災総合推進事業 (三佐北地区)	現道拡幅 L=0.67km	大分市						211.8	
1-A-2	防災	一般	大分市	直接	大分市	都市防災総合推進事業 (三佐北地区)	公園整備	大分市						23.8	
合計												235.6			
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-B-1	街路	一般	大分市	直接	大分市	(都) 山ノ神備中線 (山ノ神工区)	現道拡幅 L=0.4km、S街路、改築	大分市						228.2	
1-B-2	街路	一般	大分市	直接	大分市	(都) 由原浜新地線 (戎堂、遠見地区)	現道拡幅 L=0.6km、S街路、改築	大分市						859.3	
合計												1,087.5			

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
1-B-1	都市防災事業による道路築造と合わせて同区域内に計画されている街路を整備することにより、災害時の避難活動、消防活動のさらなる円滑化が期待できる。														
1-B-2	都市防災事業による道路築造と合わせて同区域内に計画されている街路を整備することにより、災害時の避難活動、消防活動のさらなる円滑化が期待できる。														
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> 道路の整備により、救急車等の緊急車両の乗入れが可能になった。 道路の整備により、一時避難地及び避難場所への移動時間が短縮された。 接道宅地率の向上により、住宅の建替えや新築が進んできた。 歩道の整備により、子どもを始めとする歩行者の安全性が向上された。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（消防活動困難区域率）	最終目標値	19%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	19%		
	指標②（道路整備率）	最終目標値	25%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	25%		
	指標③（接道住宅率）	最終目標値	41%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	41%		
	指標④（歩道整備率）	最終目標値	51%	目標値と実績値 に差が出た要因	
		最終実績値	51%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて）		<ul style="list-style-type: none"> 公園を整備したことで災害時の一時的な防災拠点が確保された。また、地域の防災訓練や日常の交流の場として活用されており、地域コミュニティの活性化が図られた。 これまでの取り組みにより災害時における安全性の向上について一定の成果を果たすことができた。 			
3. 特記事項（今後の方針）					
緊急時の安全性の確保が急がれることから、引き続き定量的指標の達成を目指して道路を中心とした公共施設の整備改善を行い、安全で快適な居住環境の形成に向けた市街地整備を推進する。					

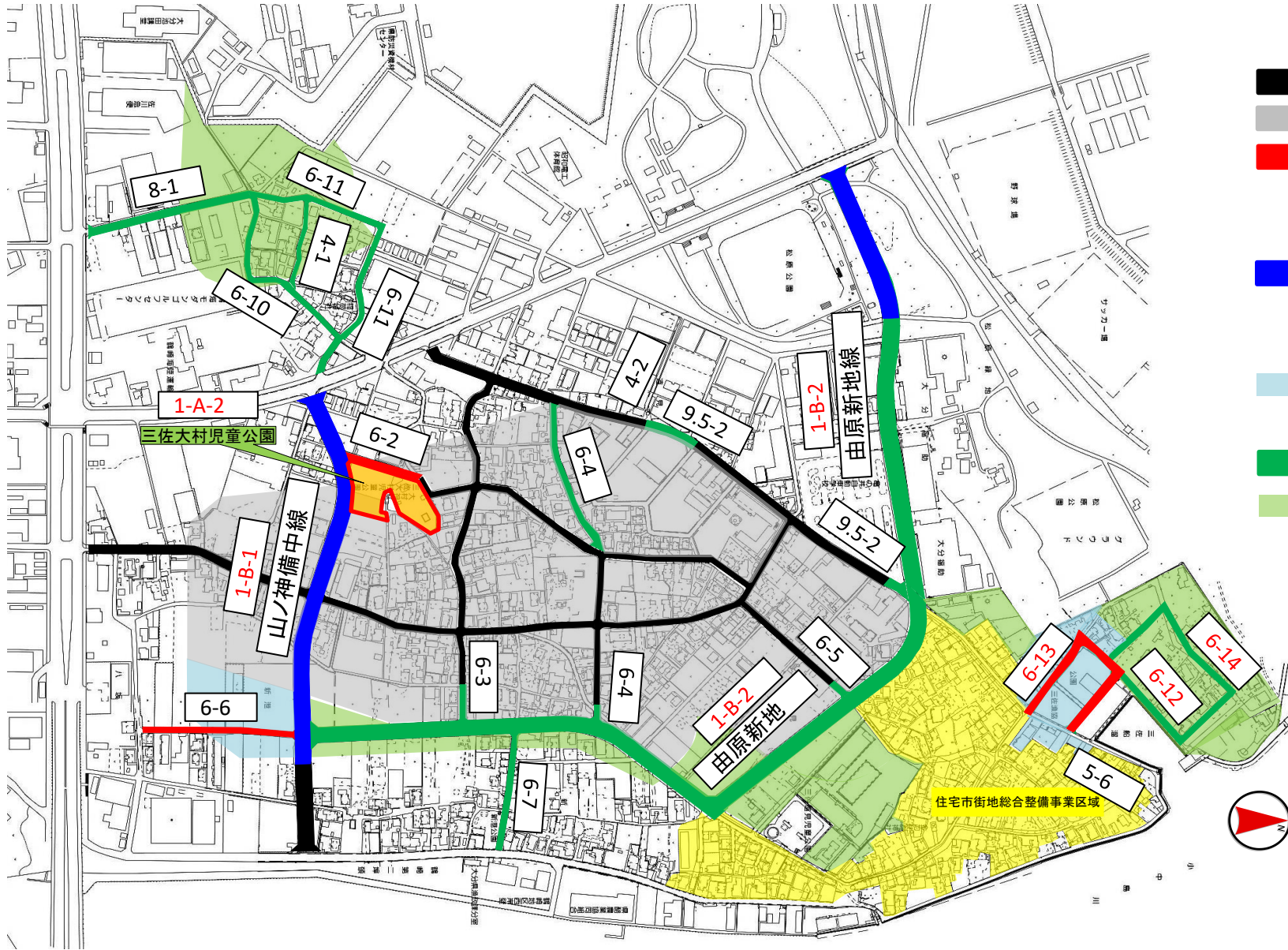
(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 三佐北地区の安心・安全のまちづくり【第2期】(防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	大分県大分市



(参考図面) 市街地整備 (消防活動区域)

計画の名称	1 三佐北地区の安心・安全のまちづくり【第2期】 (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	大分県大分市

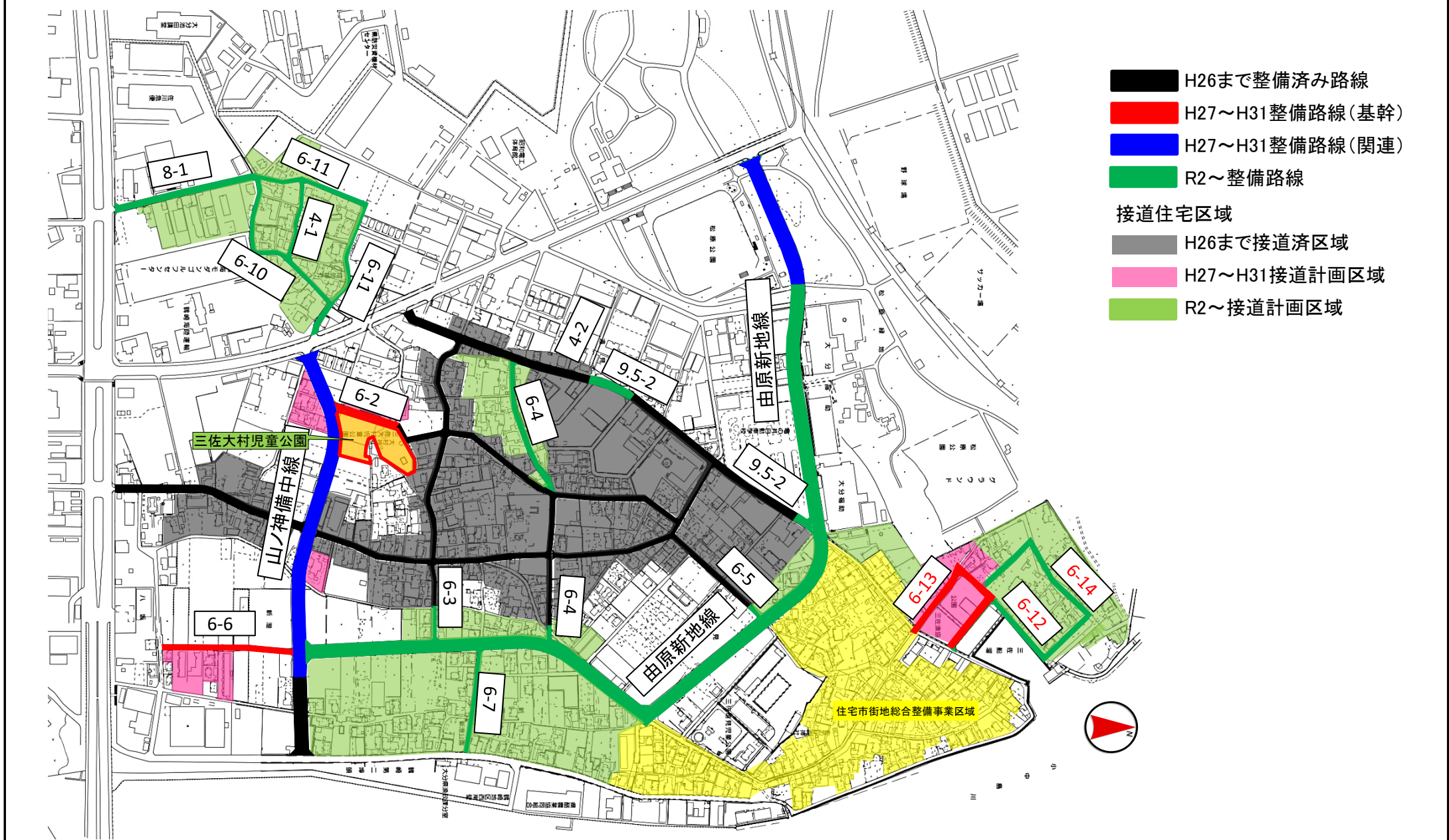


- H26まで整備済み路線
- H26まで解消済区域
- H27~H31整備路線 (基幹)
- 1-A-1 道路
- 1-A-2 公園
- H27~H31整備路線 (関連)
- 1-B-1 山ノ神備中線
- 1-B-2 由原新地線
- 消防活動困難区域
- H27~H31解消計画区域
- R2~整備路線
- 消防活動困難区域
- R2~解消計画区域
- * 着色部が活動困難区域



(参考図面) 市街地整備 (接道図)

計画の名称	1 三佐北地区の安心・安全のまちづくり【第2期】(防災・安全)	交付対象	大分県大分市
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)		



しゃかいしほんそうごうせいびけいかくだいき
社会資本総合整備計画(第2期)

(大分県大分市)第3回^{ダイカイ}変更^{ヘンロウ}

令和3年8月

第3章市街地整備

み さ き た ち く における あんしん あんぜん の まちづくり【第2期】
(防災・安全)

おおいたけん おおいたし だい かいへんこう
大分県大分市(第3回変更)

令和3年8月

社会資本総合整備計画（市街地整備）

令和 3 年 8 月 日

計画の名称	1 三佐北地区における安心・安全のまちづくり【第2期】（防災・安全）			
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	大分県大分市	
計画の目標				

大分市三佐北地区は準工業地域であるにもかかわらず、老朽化した住宅が密集し道路も入り組んでいることから、緊急時の安全性を確保することが急務である。当三佐北地区では、平成12年に地元協議会が設立され行政と地元が協同で事業への取り組みを行ってきた。本計画では行政、地元が一体となり道路整備を行うことによって消防活動困難区域の解消、接道率向上による老朽住宅の減少を目標に、地域の防災性及び住環境の向上を図り、併せて避難場所（三佐小学校）までの避難時における子ども達の安全性の向上を図る。また、道路整備により影響の出る三佐大村児童公園について一時避難地としての機能維持の為に公園整備を行う。

計画の成果目標（定量的指標）

- ・三佐北地区における消防活動困難区域の解消を目指す。
- ・三佐北地区における道路整備率を48%までの向上を目指す。
- ・道路整備を行うことにより接道住宅率を62%までの増加を目指す
- ・子どもの災害避難時における安全性の向上を図るため歩道整備率の向上を目指す。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考					
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)						
・事業計画をもとに消防活動困難区域をH31年度には19%まで解消する。 (消防活動困難区域率) = (消防活動困難区域-道路整備による解消区域) / (消防活動困難区域 (29ha)) (%)	38%	25%	19%						
・事業計画をもとに道路整備率をH31年度に25%まで整備する。 (道路整備率) = (道路整備延長) / (区域内未整備道路全体延長 (12,919m)) (%)	17%	20%	25%						
・事業計画をもとに接道住宅率をH26年度の36%をH31年度には41%まで向上する。 (接道住宅率) = (既接道住宅棟数 (191棟) + 道路整備完了後、接道が可能となった住宅棟数) / (区域内全住宅棟数 (524棟)) (%)	36%	39%	41%						
・事業計画をもとに歩道整備率をH31年度に51%まで整備する。 (歩道整備率) = (歩道整備延長) / (区域内未整備歩道全体延長 (2,506m)) (%)	28%	41%	51%						
全体事業費	合計 (A+B+C)	1,323.1百万円	A	235.6百万円	B	1,087.5百万円	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

交付対象事業

A1 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-A-1	防災	一般	大分市	直接	大分市	都市防災総合推進事業 (三佐北地区)	現道拡幅 L=0.67km	大分市						211.8	
1-A-2	防災	一般	大分市	直接	大分市	都市防災総合推進事業 (三佐北地区)	公園整備	大分市						23.8	
合計													235.6		

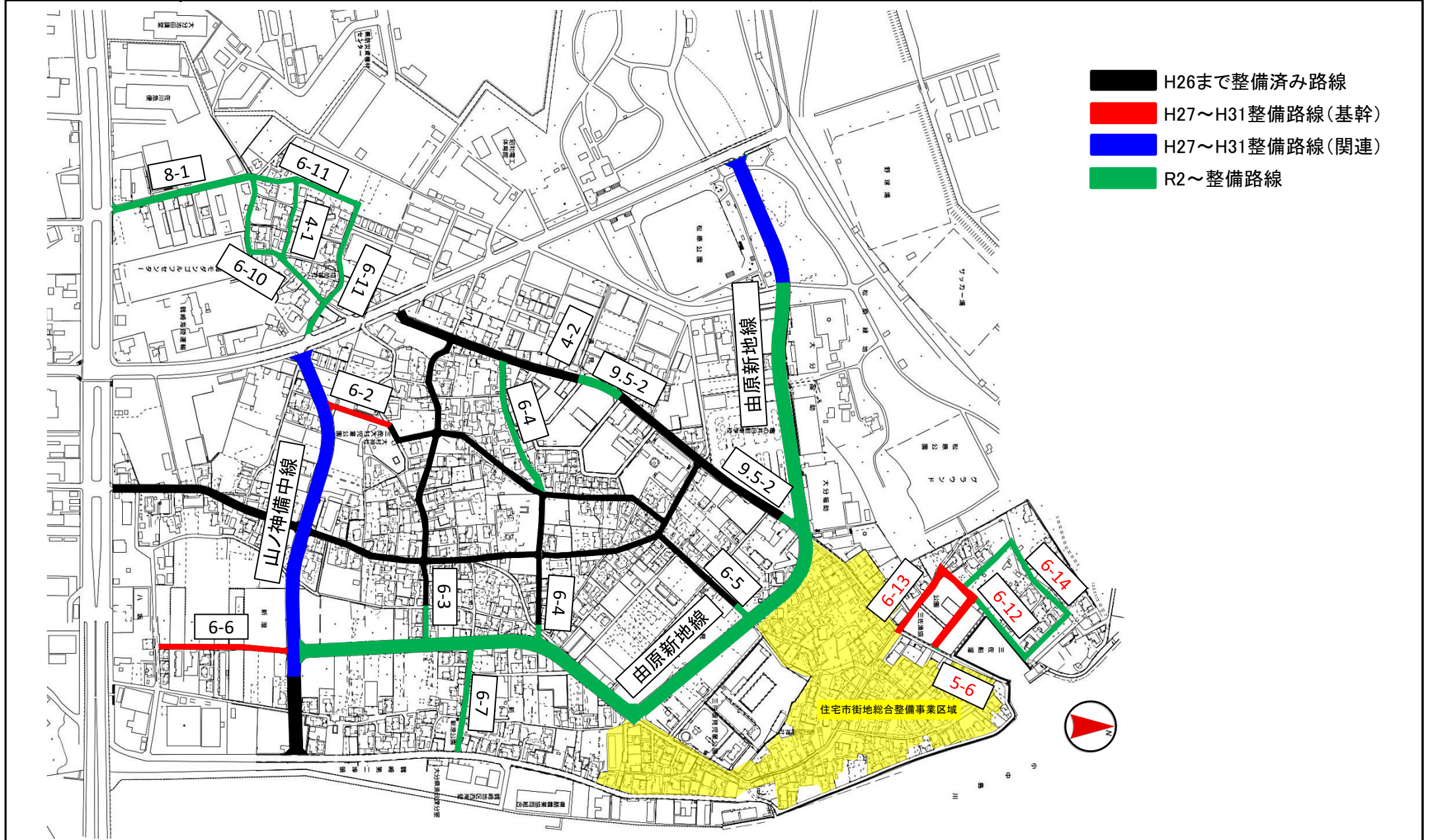
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H27	H28	H29	H30	H31		
1-B-1	街路	一般	大分市	直接	大分市	(都) 山ノ神備中線 (山ノ神工区)	現道拡幅 L=0.4km、S街路、改築	大分市						228.2	
1-B-2	街路	一般	大分市	直接	大分市	(都) 由原浜新地線 (戎堂、遠見地区)	現道拡幅 L=0.6km、S街路、改築	大分市						859.3	
合計													1,087.5		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-B-1	都市防災事業による道路築造と合わせて同区域内に計画されている街路を整備することにより、災害時の避難活動、消防活動のさらなる円滑化が期待できる。	
1-B-2	都市防災事業による道路築造と合わせて同区域内に計画されている街路を整備することにより、災害時の避難活動、消防活動のさらなる円滑化が期待できる。	

C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
合計															

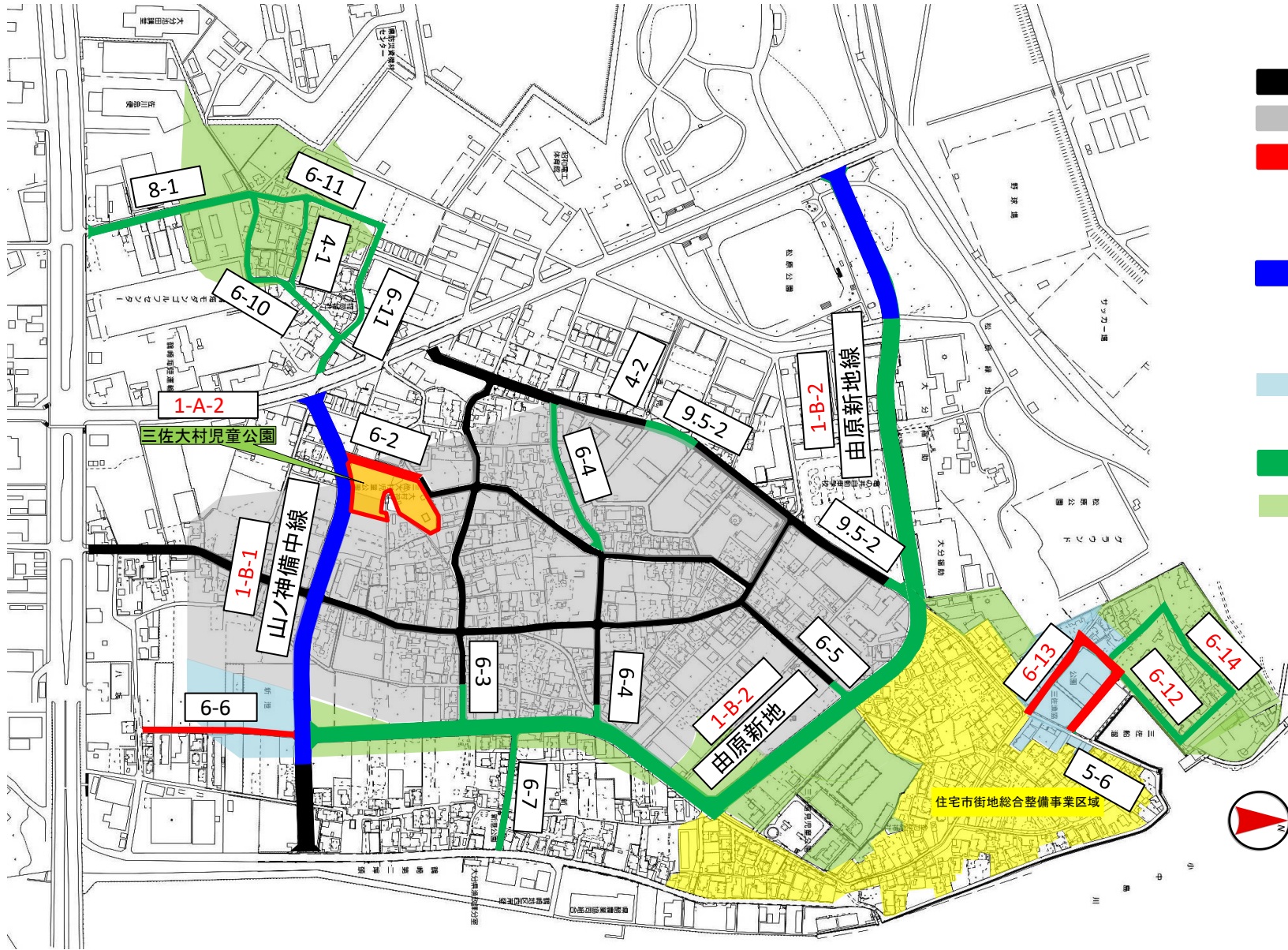
(参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 三佐北地区の安心・安全のまちづくり【第2期】(防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	大分県大分市



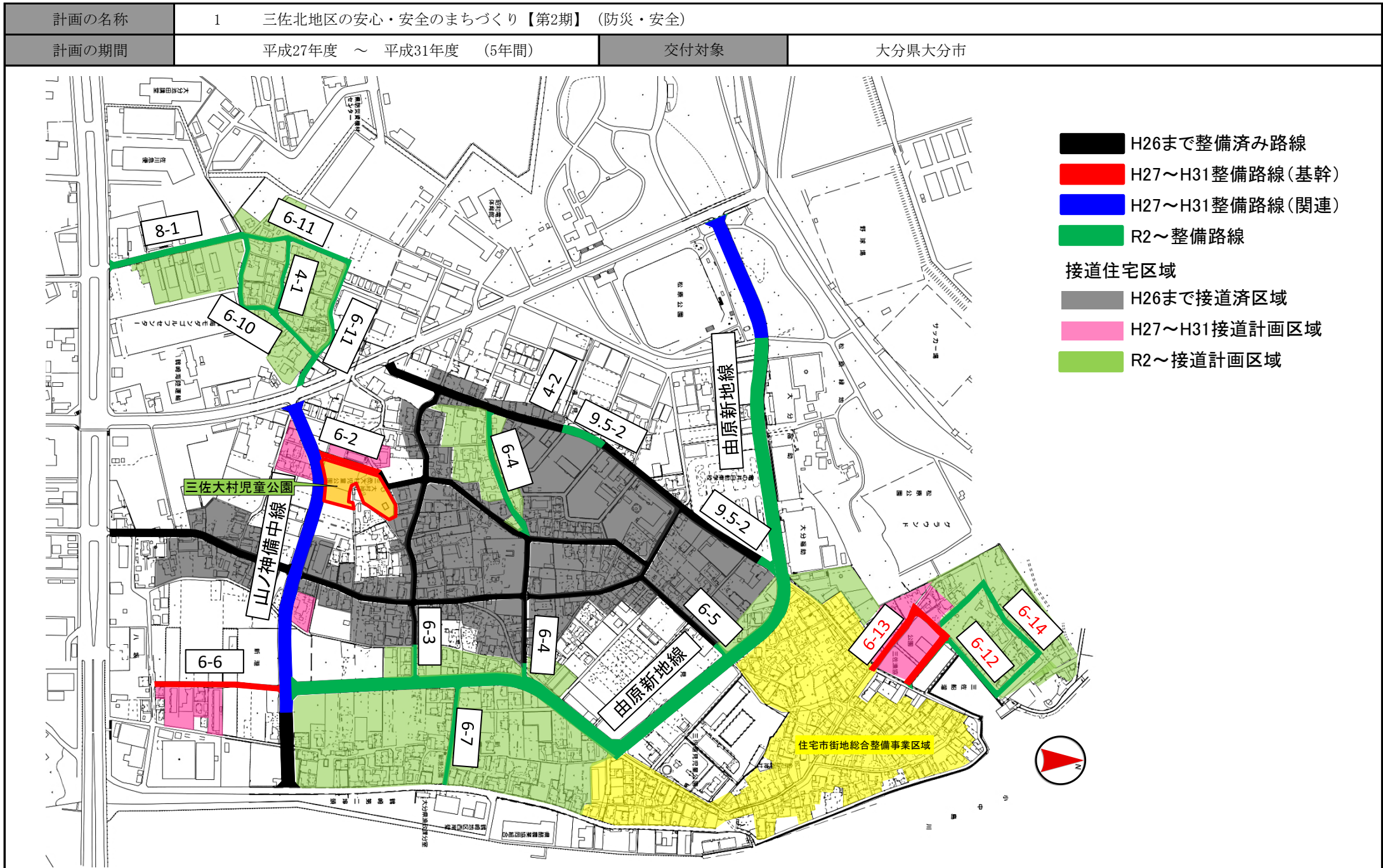
(参考図面) 市街地整備 (消防活動区域)

計画の名称	1 三佐北地区の安心・安全のまちづくり【第2期】 (防災・安全)		
計画の期間	平成27年度 ~ 平成31年度 (5年間)	交付対象	大分県大分市



- H26まで整備済み路線
- H26まで解消済区域
- H27~H31整備路線 (基幹)
- 1-A-1 道路
- 1-A-2 公園
- H27~H31整備路線 (関連)
- 1-B-1 山ノ神備中線
- 1-B-2 由原新地線
- 消防活動困難区域
- H27~H31解消計画区域
- R2~整備路線
- 消防活動困難区域
- R2~解消計画区域
- * 着色部が活動困難区域

(参考図面) 市街地整備 (接道図)



社会資本整備総合交付金チェックシート

(都市防災推進事業)

計画の名称: 三佐北地区における安心・安全のまちづくり 事業主体名: 大分市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画との適合等	
1) 防災の目標が都市計画マスタープラン等と適合している。	○
②地域の課題への対応	
1) 地域の課題(防災上の危険性)を踏まえて整備の目標が設定されている。	○
2) 大分市市街地災害危険度判定の分析から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1) 十分な事業効果が確認されている。	○
2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の熱意	
1) 事業推進に向けた地域の機運が醸成されている。	○
2) 継続的な事業の展開が見込める。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○